

# Marker 6 ( $\lambda$ StyI digest)

## I. 製品説明

本品は、 $\lambda$ DNA を制限酵素 StyI で完全分解したものであり、高・中分子域の DNA 分子量マーカーに適しています。

## II. 保存

-20°C

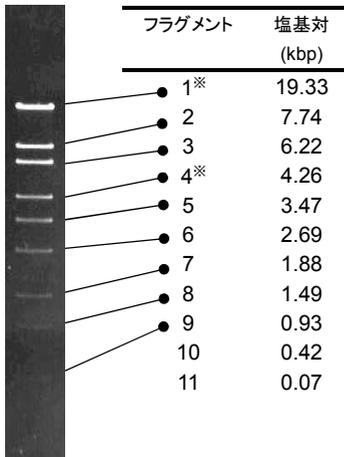
## III. 濃度

0.5  $\mu$ g /  $\mu$ l

## IV. 形状

10 mM Tris-HCl (pH 8.0)  
1 mM EDTA  
20 mM NaCl

## V. フラグメントサイズ対応表



1% Agarose S  
EtBr 染色

※ $\lambda$ DNA を用いた Marker は cos site でのアニーリングが起りやすいため、塩 (>10 mM) もしくは EDTA (>5 mM) 存在下で加熱処理 (65°C、5 分) を行ってから使用してください。

## VI. 使用例

<DNA サイズマーカーの調製例>

TE (pH8.0)	X $\mu$ l
6 x Lading Buffer	1 $\mu$ l
Marker 6	0.4 -1 $\mu$ l
Total	6 $\mu$ l



65°Cで5分保温後、氷上で急冷※



全量を1% アガロースゲルに供し、電気泳動



EtBr 等で染色

注) マーカー調製の際、TE (pH 8.0) の代わりに ddH<sub>2</sub>O を使用すると、泳動パターンが乱れることがあります。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。  
医薬品の用途には使用しないでください。